



発行日/令和元年9月25日 発行者/網代和夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

# 雨間ほっと

雨間町内会会長 師 清史

雨間 地域ぐるみ高齢者支え合い

ほっとできる居場所、温かみあふれる地域との意味で命名。ここに元気な高齢者・温かい地域づくりにつながるヒントがあれば幸いです。

## 1、取り組み背景と目的

高齢化率の増大に伴って公的支援に頼るだけでは、安心安全な生活が維持できない状況になる。

そこで住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活ができるよう、地域ぐるみで高齢者を支え合うしくみを充実させ、地域住民が自分から参加し、自らの健康づくりに繋げていただく。

## 2、準備段階からの活動経緯

①市の高齢者見守り事業の改善検討過程で、H30年1月に行われたあきる野市「地域ぐるみ支え合い推進」フォーラムに参加。

②同年8月 町内会と社協打合せ、地域活性化に向け取り組み方向となる。

③同年10月 民生委員、ふれあい委員、健康づくり委員、地域代表に協力要請。

## 3、検討会のステップ展開

総勢37名で検討会をステップ展開

① H30年12月 課題の抽出と優先付け

② H31年1月 地域でできることは？ ↓ 出掛けたい「めざす居場所」検討

③ 同年2月 推進体制・維持面の課題、必要な公的支援の検討

## 4、同年3月ふり返りと実展開の具体化

「人によりやりたい事はいろいろ」等々から先ずは五つの班活動を用意

①茶話会軽レク班、②グラウンド・ゴルフ班、

③カラオケ班④アグリ（農作業）班、⑤多世代交流班（高齢者以外にも枠を広げた活動）

## 4、活動の基本方針

①参加対象は雨間町内会地域内の原則高齢者（町内会会員・非会員区別せず。↓ほっとな地域につなげよう）

②活動の資金↓公的しくみ+参加者会費他

## 5、活動の様子

①茶話会軽レク班（月2回）



②グラウンド・ゴルフ班（月2回）



③カラオケ班（隔週金土曜・午前午後）



④アグリ（農作業）班（月～金当番制）



⑤多世代交流班（年数回の企画）



## 6、立ち上げ後の参加者の声・反応

①人と関われる機会ができて有難い。

②運営に係わっているスタッフもやりがい感からか活き活きとした動き。

## 7、雑感

振り返ると1項の背景を踏まえ、今やるべきことは何か？皆でベクトルを合わせた展開が大切なポイントと考える。

『見学 大歓迎！』お問合せは師まで！

## 余瀝

風水害を危惧するシーズンになりました。ここ数年地球温暖化を主な原因とした大災害が界のいたるところで起きています。勿論、日本でも例外ではありません。これからはいつどこで何が起ころうとも不思議ではありません。

りません。古にも各地に様々な天変地がありました。しかし、最近の災害は像を絶する桁外れなものです。経済を先し自然環境を破壊してきた人類へのまさに自然のしっぺ返しです。今や、効率先を優先した原発・化石エネルギーを脱し再生可能エネルギーを基本にしたエネルギー資源政策が求められます。▼災害に備えた、地域の取り組みが大きな課題です。その前提となる災害に対する科学的な知識の蓄積、確固とした心え、周到な準備、入念な訓練が必須です。▼あきる野市でも各地で町内会・自治会・自主防災会による防災訓練・夜間防災訓練・避難所設営訓練等が熱心に取組まれています。防災器具も次第に整されてきています。課題はいかにして数の住民に参加してもらうか、未加入世帯にどう働き掛けるかです。全住民大きくかかわることです。どのようにして防災理念を我がこととして共有するか様々な創意工夫をして理解を求め対話することが肝要です。▼いざという時に内会・自治会の真価が問われます。困る時にみんなで一体となり、無理をせざる限りのことをする町内会・自治会の精神の発揮時です。また、災害弱者言われる高齢者、障がい者、病人、妊婦、乳幼児等要配慮者への適切な対応細やかな心配りが求められます。

# わたくしたちの活動

## 『野辺のふれあいまつり』



野辺町内会会長  
松下昌則

6月9日(日)、野辺八雲神社境内にて、野辺ふれあいまつりが開催されました。小雨にもかかわらず子供から年配の方々まで約300人がご来場くださり賑わいを見せました。野辺の方々によるフリーマーケット、和菓子の秀栄堂、パン屋すず、カレー移動販売車の出店、やきそば・フランクフルト・ジュース、野辺の農家より提供された野菜や花苗の販売がありました。

また、体験教室として、木工作り、おりがみ、せんべい焼き、フレンチトースト、盆踊りが開催され、教えたのは地元の年配の方々です。

どのブースも大人気で、来場者は皆それぞれのイベントを楽しみました。企画したのは野辺の青年団である「野人会」(会長吉田裕、会員数50人)で、毎年どんと焼きや八雲神社例大祭宵宮の舞台運営などを行うボランティア活動団体です。今回は野人会設立40年を記念し、地域を盛り上げるイベントをやりたいと、市のコミュニティ事業交付金を活用して、野辺町内会に加え、土建組合や野辺の地域団体、地元企業商店の協賛協力をいただいで実現しました。「野辺は温かい人たちがいて良いところだな。」と野辺ふれあいまつりを開催して改めて実感しました。



## 西伊奈自治会館が 8月に竣工



木造平屋建／延べ床面積約78㎡

第37号の記事の訂正とお詫び  
歴代会長の欄の記事で、坂本栄次さんは、坂本栄司さんの誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

### 編集後記

本号では一つの町内会の活動を取り上げました。表題には「言葉は扉をたたき、行動は扉をらく」を掲げ、「扉をひらく」行動を実施し町内会の活動の報告です。「雨間ほっと」は雨間町内会が起した新規業です。増加する高齢者に焦点をあて、家に引こもらないでいつでも行ける「居場所」を提し、心身共に健康維持につなげる、地域の課題決に向けた第一歩と言えます。画期的なことは加者を町内会会員非会員の区別をなくしオープン化したことです。

野辺町内会の活動は地域内の他の団体とのコラボレーション、つまり協力をもって事業を実施したこと。これによって会員非会員の区別がなくなり、地域内のコミュニケーションに寄与することになります。

こうしてみると、今後の活動のキーワード「オープン化」と「コラボ」にあるように思えますが、いかがでしょうか。(高野)

## 10月は町内会・自治会加入促進強化月間です



## 笑顔が寄り添う 街づくり してみませんか?

防災・防犯・交通安全

笑いがあふれる地域行事

地域の環境美化

児童・高齢者の見守り

温かな社会福祉活動

＜お問合せ先＞ お住まいの地域の町内会長・自治会長 または 市役所地域防災課地域振興係

☎ 042-558-1394